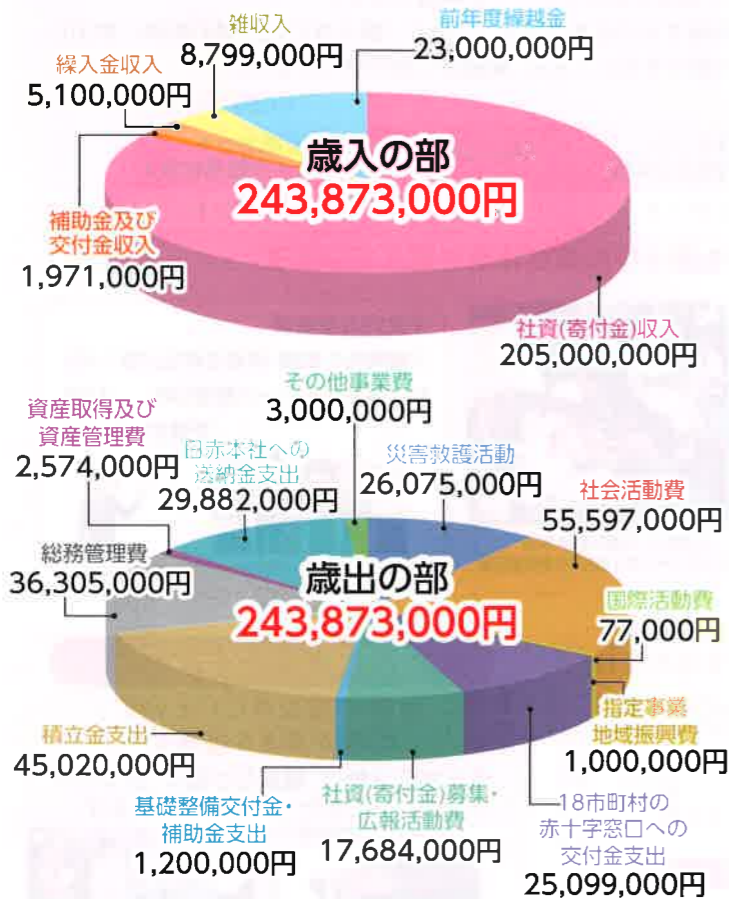


平成30年度予算が承認されました

第2回日本赤十字社大分県支部評議員会が2月9日(金)に大分市のトキハ会館で開催されました。副支部長をはじめとする評議員が出席、当支部の平成30年度予算が承認されました。



レッドライトアッププロジェクト

赤十字レッドライトアップ 2018
～世界とともに赤十字の灯りをともし日に～



大分市
大分城址公園
外壁を赤く照らします

先人たちが強く訴えた「人道」への理解を深め、ともにその大切さを発信することを目的として、全国の歴史的建造物やランドマークとなる施設、企業など、5月上旬に赤色でライトアップします。

なぜ5月なの？

- ▶ 5月1日は、日本赤十字社(前身:博愛社)の設立日
- ▶ 5月8日は、世界赤十字デー(赤十字の創始者であるアンリー・デュナンの生誕日)

このような歴史的な背景から赤十字にゆかりの深い5月を赤十字運動月間としています。



点灯日
5月7日(月)～
11日(金)
点灯時間
19:00～21:00

日赤おおいた No. 38



平成29年7月11日、日田市小野地区へ向かう医療救護班員

5月は赤十字運動月間です
日赤大分県支部のこと、もっと知ってほしい

- Q1 日赤病院と血液センターと同じ施設？
- Q2 災害の時にだけ活躍するイメージ。普段は何に寄付金が使われているの？
- Q3 救援物資として備蓄している資材の種類と数量は？
- Q4 赤十字の事業に参加する一般の人ってどれくらい居るの？



——答えはすべてこのなかに。

日本赤十字社への寄付に対する表彰制度

種類	表彰基準額
特別社員	2万円以上
日本赤十字社から	
支部長表彰状・感謝状	10万円以上20万円未満
銀色有功章	20万円以上
金色有功章	50万円以上
日本赤十字社社長感謝状	金色有功章受章後更に50万円以上
国から	
厚生労働大臣	100万円以上500万円未満
紺綬褒章	500万円以上

税制上の優遇措置のご案内

区分	措置の内容	適用期間
所得税の控除	寄付金の全額(ただし、上限は寄付者の年間所得総額の40%)から2千円を差し引いた額が、寄付者の年間所得総額から控除されます。	通年
相続税の非課税	寄付した相続財産の価格は、相続人が納めるべき相続税の課税価格に算入されません。	通年

Facebook 赤十字3施設の情報をリアルタイムで発信中!「赤十字大分 Facebook」で検索して、いいね!をお願いします。

赤十字についてのご連絡は、最寄りの市町村の赤十字担当窓口または県支部へ

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

大分市千代町2丁目3番31号
TEL(097)534-2236・FAX(097)533-6795

日赤大分 検索 「日赤おおいた」のTwitterチャンネルは、こちらからご覧いただけます。

http://www.oita.jrc.or.jp

大分赤十字病院
〒870-0033 大分市千代町2丁目2-37
TEL(097)532-6181・FAX(097)533-1207
http://www.oitasekijyuji.jp/

大分赤十字血液センター
〒870-0889 大分市大字陸隈717-5
TEL(097)547-1151・FAX(097)547-1141
http://www.bc9.org/

献血ルーム・わったん
〒870-1198 大分市大字玉沢字楠本755番地の1
「トキハわさだタウン」3街区2階
TEL(097)574-6822・FAX(097)542-5777
予約専用 ☎0120-489-150

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society



県民の皆さまへ

日本赤十字社大分県支部 支部長 広瀬勝貞

昨年は、大雨や台風により県内が被災し、日赤大分県支部は、県や市町村の要請により救援物資を届けるとともに、大雨災害では日田市に医療救護班を派遣いたしました。災害への関心が高まる今だからこそ、赤十字の「いのちと健康を守る」ための事業を必要とする地域や人々の声に応えてまいります。

災害時だけでなく、平時における赤十字事業へもご理解をいただき、引き続き、活動資金へのご協力をはじめとする皆様からのあたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日赤大分県支部って？

日赤大分県支部は、赤十字病院でもなく血液センターでもない赤十字の施設です。災害時はもちろん、平時においても職員12名で、様々な事業を行っています。

ただし、災害が起きた時に被災地へ向かう医療救護班は、赤十字病院と血液センターの職員も班要員になり、赤十字職員一丸となって被災者支援を行います。



寄付金の使われ方



皆様から寄せられる赤十字への寄付金は、災害時以外にも、様々な事業に使われています

災害救護活動 『防災・減災』を広めるとともに被災者に寄り添う支援を行うために

今後起こりうる災害に備えて『防災・減災』の意識向上のため、各地で防災セミナーを開催します。

発災した際には、医療救護班を派遣し被災者のストレスを軽減するのはもちろん、日頃より様々な公私機関の訓練に参加し、体制強化に取り組みます。また、救援物資を整備し、被災地へお届けするとともに、義援金の受付を行います。

日赤大分県支部が保有する救援物資

(H30年2月末時点)

毛布	タオル類	緊急セット (生活消耗品 24品)	ブルーシート	安眠セット (マットや簡易枕等)
1,883 枚	1,502 枚	975 セット	964 枚	417 セット

※当支部庁舎だけでなく、県内18市町村にも赤十字の救援物資を備えています。



日田市小野地区での巡回診療 (平成29年九州北部豪雨)



職員が地域に出向き、各地で防災セミナーを実施



定期的に救護訓練を実施 (平成29年九州八県支部合同災害救護訓練)

平成28年度実績

災害関係の訓練・研修会参加回数 14回

防災関係セミナーの開催回数 13回

受講者 857名

講習普及事業 とっさの時に『命を救える人』になるために

緊急時の手当や事故防止に必要な知識と技術の普及に努めています。



AEDの使い方や心肺蘇生などを学ぶ「救急法講習」



子どもの事故の予防や手当などを学ぶ「幼児安全法講習」



高齢者介助の方法や自分の家族を守るための「健康生活支援講習」



水の事故から身を守るための「水上安全法講習」

平成28年度実績

講習回数 321回

受講者 11,452名

指導員(延べ人数)

日赤職員 83名

ボランティア 69名

計152名

赤十字ボランティア

社会に役立ちたいという同志が集まる場所に

赤十字の活動は、職員だけでなく、多くのボランティアの方たちが活躍しています。



救援物資の積み下ろし (平成29年台風18号災害)

ボランティアによる託児付きの講習会も行っています

平成28年度末時点で41団5,325名の方が在籍しています。

平成29年4月1日より「社員制度」が新しくなりました

名称	社資額	定義
社員	社費(年額500円以上)	運営に参画する支援者
寄付者	寄付金(社費以外)	幅広い支援者※これまでの寄付者を含む
協会会員	目安として年額500円以上	幅広い支援者※これまでの寄付者を含む

従来

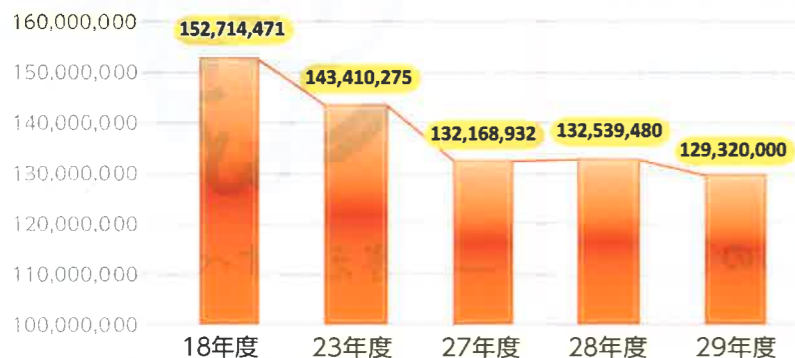
新制度

社員は、会員へ 社費は、会費へ

年額2,000円以上を納入し、赤十字会員として名簿登録を許可して下さった方には、日赤大分県支部よりイベントのご案内や、広報誌を送付させていただきます。(名簿登録の可否は、書面をもって日赤大分県支部が該当者にご連絡を差し上げたうえでご回答させていただきます。)

皆様には協力会員・会員として、引き続きご支援をよろしくお願いいたします

<参考> (単位:円) 赤十字に寄せられる自治会を通していただく寄付金の推移



10年前と比べると自治会を通していただく寄付が約2,300万円少なくなりました。



※自治会を通していただく寄付の他に個人からの高額寄付(20万円以上)や法人からの寄付があります。

※平成29年度は、平成30年2月末時点での見込額

国際活動 世界の紛争や災害で苦しんでいる人のために

世界191か国にある赤十字と連携し、必要な地域に支援を届けます。大分県支部では、毎年12月に海外たすけあいキャンペーンを行い、海外救援金を受け付けます。



JR大分駅で海外たすけあい募金活動を行う園児ら

青少年赤十字 (JRC= Junior Red Cross) 「気づき、考え、実行する」力を育むために

県内では208校(園)約34,000人のメンバーが青少年赤十字(JRC)に加盟し、実践活動を通して、1人1人がリーダーとなり、未来を担う力を育みます。



夏休みには3日間生活を共にし、自分にできることを考えます(リーダーシップトレーニングセンター)

県教育委員会との共催で教員を対象に防災教育研修会を行います

職員が出向き、小中学校での出前講座を行います(サポートプログラム)

平成28年度実績

大分県下のJRC加盟率は36.5%(全国平均33.1%)

赤十字職員による防災などの授業を24校(園)で行いました。